

令和6年度「文化芸術による子供育成推進事業（ユニバーサル公演事業）

出演希望調書 No.1（共通）

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	株式会社 東京演劇集団 風
公演団体名	東京演劇集団 風

分野・種目

※応募する企画の主たる分野・種目を1つ選択してください。

分野・種目については、募集要領3ページを御参照ください。

分野	種目
演劇	児童劇、演劇、ミュージカル

取り組み（該当する取り組みに○を付してください。）

該当	取り組み
<input checked="" type="checkbox"/>	①障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
<input type="checkbox"/>	②字幕や音声ガイダンス等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

--

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分（該当する区分に○を付してください。）

該当	区分
<input type="checkbox"/>	◀D区分▶ 公演を中心とする企画
<input checked="" type="checkbox"/>	◀E区分▶ ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間 ※原則として 本公演：令和6年6月3日（月）～令和7年1月31日（金）まで

ワークショップ：令和6年5月1日（水）から令和7年1月31日（金）まで

実施可能期間	<input type="checkbox"/>	上記「実施可能期間」対応可能 ※夏休み、年末年始を除く
	～	～
	～	～
	～	～
連日公演の可否	可	←選択してください。

実施可能地域 ※実施可能な地域名の前に○を付してください。（複数選択可）

該当	地域	都道府県	都道府県を限定される場合はこちらに御入力ください。
○	限定なし		
	北海道	北海道	
	東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
	南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川	
	北関東・甲信	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	
	北陸	新潟、富山、石川、福井	
	東海	岐阜、静岡、愛知、三重	
	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	
	四国	徳島、香川、愛媛、高知	
	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	
	沖縄	沖縄	

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな	かぶしきがいしゃ とうきょうえんげきしゅうだんかぜ		
制作団体名	株式会社 東京演劇集団 風		
代表者職/氏名	代表取締役 浅野佳成		
制作団体所在地	〒 164-0003		
	東京都中野区東中野1-2-4		
制作団体代表電話番号	03-3363-3261		
制作団体設立年月	1987	年	10月
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役/浅野佳成 取締役/柳瀬太一、 緒方一則、西垣耕造 監査/柴崎美納、龍澤武	[団体構成員] 劇団員(専属契約) 33名 俳優27名/スタッフ6名 [劇団加入条件]実習生としての1年の養成期間、その後の3年間の研究生期間を経て、専属契約を結び劇団員となる	
事務体制：事務（制作専任担当の有無）		専任	
Webサイト等URL	https://www.kaze-net.org/top		
本事業担当者名	江原早哉香	本件連絡先：電話番号	03-3363-3261
メールアドレス	sayaka@kaze-net.org		
経理処理等の監査担当の有無		有	
経理責任者名	辻幸男		

【公演団体について】

ふりがな	とうきょうえんげきしゅうだんかぜ
公演団体名	東京演劇集団 風
代表者職／氏名	代表 柳瀬太一／芸術監督 浅野佳成・江原早哉香
Webサイト等URL	https://www.kaze-net.org/top

特別支援学校等における活動実績や障がいを持ったアーティストの活動を拡げる公演等の活動実績①

障がいの有無や地域・年齢を問わず、誰もが一緒に楽しめるバリアフリーな演劇活動、全国での上演に力を注いできました。これまで、35都道府県・全90校の特別支援学校で上演を行っています。さらに近年、多様な表現や感性を学ぶインクルーシブな取り組みの一環として、全国86校の小学校・中学校・高等学校でも「バリアフリー演劇」を上演しています。

[特別支援学校等での上演実績] (～2023年9月現在)

特別支援学校 62校、盲学校 11校、聾学校 17校 のべ90校

(知的・精神・肢体・病弱含む)

年度別実績 2023年度 30校、2022年度 47校、2021年度 23校

演目別実績 『星の王子さま』52校、『ヘレン・ケラー』35校、『Touch』11校

北海道	北海道教育大学附属特別支援学校
青森県	盲学校、青森聾学校 八戸盲学校・聾学校
岩手県	盛岡青松支援学校、盛岡聴覚支援学校、盛岡視覚支援学校
秋田県	聴覚支援学校、視覚支援学校 きらり支援学校
福島県	福島大学附属特別支援学校
栃木県	那須特別支援学校
群馬県	聾学校、あさひ特別支援学校、赤城特別支援学校、しろがね特別支援学校 太田特別支援学校、沼田特別支援学校、館林特別支援学校、渋川特別支援学校、渡良瀬特別支援学校、吾妻特別支援学校、富岡特別支援学校 前橋高等特別支援学校、高崎高等特別支援学校、伊勢崎高等特別支援学校、太田高等特別支援学校、館林高等特別支援学校、群馬大学教育学部附属特別支援学校
埼玉県	秩父特別支援学校 県立特別支援学校塙保己一学園
千葉県	柏特別支援学校流山分教室
東京都	城南特別支援学校、青峰学園 青鳥特別支援学校、水元小合学園 中野特別支援学校
石川県	小松特別支援学校、明和特別支援学校、いしかわ特別支援学校、ろう学校
福井県	嶺南西特別支援学校
山梨県	盲学校
岐阜県	聾学校
愛知県	豊橋聾学校
三重県	特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校

滋賀県	聾話学校
京都府	城陽支援学校
兵庫県	神戸聴覚特別支援学校、姫路聴覚特別支援学校、赤穂特別支援学校 姫路特別支援学校、高等特別支援学校、出石特別支援学校みかた分校
奈良県	ろう学校・盲学校
鳥取県	琴の浦高等特別支援学校
島根県	隠岐養護学校
岡山県	岡山盲学校、倉敷まきび支援学校 倉敷市立倉敷支援学校
広島県	広島中央特別支援学校
山口県	下関総合支援学校 防府総合支援学校
徳島県	板野支援学校、ひのみね支援学校
香川県	香川西部養護学校
愛媛県	宇和特別支援学校
高知県	中村特別支援学校 日高特別支援学校
福岡県	柳河特別支援学校 高等聴覚支援学校
佐賀県	ろう学校、唐津特別支援学校、大和特別支援学校、金立特別支援学校 佐賀大学教育学部附属特別支援学校
長崎県	ろう学校
熊本県	松橋西支援学校、盲学校・ろう学校・はばたき高等支援学校 ひのくに高等支援学校、熊本大学教育学部附属特別支援学校
大分県	聾学校
宮崎県	都城さくら聴覚支援学校、児湯るびなす支援学校、小林こすもす支援学校 延岡しろやま支援学校

※これまでの公演の様子や、先生方からいただいた声をご紹介します

子供たちが前のめりになって鑑賞したり、役者さんと一緒にキラキラした笑顔で演技するなど、全身で楽しさを表現する姿が見られ、子供たちの感性や秘められた可能性を発揮できる機会となりました。

(群馬県・特別支援学校 / 校長)



“手話での表現に挑戦”

子供たちにとって、情報過多となってしまうかと思いましたが、自分のポジションで楽しむことができる演劇の持つ特性と、手話通訳と音声ガイドをお芝居の世界に融合させた演出により、まったくの杞憂となりました。

(三重県・特別支援学校 / 校長)



“出演者になりきってポーズ！”



“学校のみんが演劇のつくり手になる”

生徒たちは観客でありながら、楽しみを共有する舞台者になっていた。言葉と共に感動を共有し響き合うことを知る貴重な日となった。(群馬県・聾学校 / 校長)



“字幕も手話もど真ん中で”

舞台設備を実際に触ることができる。声を出しても、席を離れても、規制されない。そんな経験は初めてだったと思う。普段はじっとしているのが苦手な子が、2時間も舞台を楽しんでいる。新しい宝物を見つけた瞬間だった。

(岡山県・特別支援学校 / 校長)



“いつもの体育館が「劇場」に”

6年生の人権学習のテーマである「ちがいを豊かさに～人との出会いを通して、自分の生き方を考えていこう～」につながるバリアフリーの演劇は、豊かな感性と人権意識の涵養につながると確信しています。(熊本県・小学校 / 校長)

特別支援学校等における活動実績や障がいを持ったアーティストの活動を拡げる公演等の活動実績③

全国の自治体・文化施設、社会福祉法人などと連携し、障がいや生きづらさを抱え、これまで劇場に行きたくても行けなかった人たちも安心して参加・鑑賞できる「共生の広場」を各地に運んでいます。

[バリアフリー演劇公演実績] (～2023年9月現在)

全国53カ所、のべ 61公演実施

主催者別：自治体・公共文化施設 21ヶ所、社会福祉法人 27団体、大学2校、文化庁3地域

地域名	企画名	主催者
長崎県・新上五島	バリアフリー演劇 in 上五島～伝統芸能と共演！	新上五島町教育委員会
福岡県・北九州市	「希望のまち」プロジェクト バリアフリー演劇公演	NPO 法人抱樸
熊本県・西原村	子供のためのバリアフリー演劇鑑賞会	西原村教育委員会
岡山県・勝央町	地域交流プログラム「バリアフリー演劇を体験」	勝央町教育委員会
京都府・京都市	バリアフリー演劇を鑑賞してみよう！ ～ダイバーシティ推進の取り組み	同志社大学 学生支援センター
滋賀県・日野町	だれも置いてけぼりにしない 日野町バリアフリー演劇公演	(社福)グロー 救護施設ひのたに園
愛知県・豊川市	誰もが一緒に楽しめる演劇公演	豊川市
東京都・江戸川区	インクルーシブ演劇公演 ～ダンサナクセイバー with 東京演劇集団風	自立生活センター STEP えどがわ
東京都・清瀬市	清瀬市でバリアフリー演劇を楽しもう！ ～体験格差を超え、誰もが輝ける日をつくるために～	日本社会事業大学
埼玉県・4カ所	みんなで楽しむバリアフリー演劇鑑賞会 in 埼玉	(社福)清心会ほか
宮城県・花巻市	心をバリアフリーに バリアフリー演劇一般公演	花巻市文化会館
鹿児島県・奄美市 大阪府・大阪市 山梨県・北杜市	文化庁・日本博/2025大阪関西万博に向けた 文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト みんなで楽しむバリアフリー演劇祭 ～共生社会の実現に向けて	文化庁、芸術文化振興 会、(一社)全国手をつ なぐ育成会連合会ほか

※上記は地域のみなさんとつくった「バリアフリー公演」の一例です。




みんなで楽しむバリアフリー演劇祭 in 山梨

令和6年度「文化芸術による子供育成推進事業（ユニバーサル公演事業）」

出演希望調書 No.2（D区分）

オレンジ色	入力必須項目です。		みどり色	選択必須項目です。		
制作団体名	株式会社 東京演劇集団風					
企画名	みんなで楽しむ バリアフリー演劇					
主な対象学年 <small>※複数選択は可能ですが企画内容と趣旨が異ならないようお願いいたします。</small>	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年
	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）			/	
	<input type="radio"/>	特別支援：小学部	<input type="radio"/>	特別支援：中学部		
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	1回の人数		回数			
ワークショップ	※3回まで		800人	2		
本公演	※1校1回まで		800人	まで対応可		
企画の動画等の資料						
URL	バリアフリー演劇「星の王子さま」ダイジェスト映像 https://youtu.be/rCpFDTmXBY8			PW	なし	

本公演について

主な演目	バリアフリー演劇 星の王子さま				
原作／作曲	作 サン＝デグシュペリ 翻訳 内藤濯				
脚本	構成 浅野佳成				
演出／振付等	演出 浅野佳成 音楽 八幡茂				
公演時間 (分)	著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有		
		<input checked="" type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる		
100分		<input checked="" type="radio"/>	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無		
演目概要	<p>子供たちの誰もが「主役」になる、バリアフリー演劇を上演します！</p> <p>いつもの体育館で、ワクワクの「劇場体験」を 子供たちが安心して参加・鑑賞できる本格的な劇場空間をつくりだします。出演者・スタッフと交流し、舞台や道具に自由にふれて、「演劇」の魅力を体験できます。</p> <p>すべての人を物語世界へ誘う「バリアフリーな演劇」 舞台に「舞台手話通訳」が登場。登場人物のセリフや音楽を手話で伝えます。背景に映し出されるのは、セリフ・音楽の「字幕」。ナレーターによる「音声ガイド」が人物の動きや場面の変化を語り、子供たちを優しく物語へと導きます。</p> <p>学校のみんが「共演者」 子供たち・先生と一緒に演劇をつくりあげる参加場面も用意しました。児童生徒が歌うソングや先生の特別共演場面が作品の随所に散りばめられています。</p>				
					

特別支援学校等の実施において、学校の要望を踏まえ子供たちの状況に寄り添えるよう、質の高い上演と全員での参加・共演を実現する、ふたつのプログラムを用意しました。

プログラム A 「バリアフリー演劇 星の王子さま」



大切なものは目には見えない、心で見なくてはね

王子さまのちっぽけな星に咲いた一輪の花。ささいなことでもケンカになり、王子さまの星をめぐる旅が始まります。最後にやってきた地球で、飛行士やキツネと出会い「かけがえのないもの」を学んだ王子さまは、花のために星へ帰ることを決意します。すべての人を想像する喜びへと導くファンタジー作品です。

演目概要

プログラム B 「バリアフリー演劇 ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち」



これから一緒にがんばりましょう！

作 松兼功 演出 浅野佳成 音楽 小室等
見る・聞く・話すことができない少女ヘレンのもとに、新米教師アニー・サリバンがやってきます。もっと分かり合いたいと、ふたりの情熱がひびき合うフィナーレに手話歌・指文字で共演します。
※公演時間、公演に当たり必要な会場条件・設営の所要時間はプログラム A と同様です

「バリアフリー」という言葉に、感性や心を解き放つという願いを込めました。

みんなで感動を分かち合い、互いを受け入れ、胸が踊る！

それが「バリアフリー演劇」です。

(詳細は別紙1をご参照ください)

公演従事予定者の編成
(1公演当たり)

プログラムA 計22名(出演者7名、舞台手話通訳、音声ガイド、スタッフ13名)

プログラムB 計18名(出演者9名、舞台手話通訳、音声ガイド、スタッフ7名)

公演に当たり
必要な会場条件

- ・舞台の設置場所 教室 **体育館**
- ・舞台に必要な広さ 横幅12m × 奥行9m 程度 (フロアに舞台を設営します)
- ・電源容量(主幹ブレーカー容量) 150 A
- ・暗転の要否 要 **不要** (劇団で遮光幕を持ち込みます)
- ・その他 **会場条件に関わらず、すべての体育館での舞台設営が可能です。**
電源容量が満たない場合は、劇団で発電機を持ち込みます

会場設営の所要時間
(タイムスケジュール)の目安

前日仕込み		有	会場設営の所要時間		合計5	時間程度		
到着	仕込み(開始・終了)		本公演(開始・終了)		内休憩	撤去(開始・終了)		退出
8:00	8:30	13:00	13:00	14:40	0:10	15:00	17:30	17:30

上記のタイムスケジュールはあくまでも目安です。打合せの際、時間割や子供たちの生活のリズム、日頃の様子など、先生方のご意見を十分に伺い設定いたします。

バックステージツアー・リハーサルも含めた実りある公演スケジュールを提案します。

派遣について

移動方法の制約等	特にありません
運搬規模	11tトラック(大型車両) 2台 ※プログラムBは1台

ワークショップについて

内容

① 演劇と出会おう！ 共演ワークショップ

公演の約1ヶ月前～公演当日に実施（45分～90分）

全校児童が参加・共演するクライマックスシーンの事前練習です。
本番で共演する出演者と演出家が学校にやって来て、
演劇づくりがはじまります。

作品のあらすじを紹介したあと、俳優の演技と一緒に動きやセリフ、
手話歌をくり返しながらか、みんなでワイワイと取り組みます。
作者が物語のなかに込めたメッセージも伝えながら、子供たちも
俳優も思いのままに表現して、ひとつの場面をつくりだします。



② ユニバーサル・ディスカッション～僕らはいつも旅の途中！

公演当日、体育館や教室で実施（30分～45分程度）

バリアフリー演劇を監修している障がいの当事者や福祉の
スペシャリストを招いて、ざっくばらんに語り合い、交流する場です。
「見えない人はどうやって夢を見ますか？」「何か協力できることは
ありますか？」など、バリアフリー演劇を鑑賞して子供たちの
なかに起こった率直な疑問や気づきをみんなで話し合います。



体制

- ① 演出家1名(主指導者)、出演者4名、舞台手話通訳者の計6名が学校に赴きます。
- ② 本公演の出演者・スタッフに加え、障がい当事者(主指導者)、支援者の計2～3名が公演に同行します。

目的とする効果

① 自分の感じ方で表現して、ひとつのものをつくる豊かさを経験してもらう

物語の世界、俳優の息づかいや身体にふれて湧きあがってくる想いをそれぞれに表現します。
動きやセリフをくり返すことで、自分の心と身体がだんだん高まっていき、みんなと気持ちを合わ
せて演じる心地よさを体感します。自分や友だち、いろんな人の表現がまざり合う創造のおもしろ
さを味わい、演劇は自身のなかにあることを発見してもらいます。

② 特性があってよし、ちがいがあってよし、多様な生き方と表現方法を認めあう

バリアフリー演劇の体験を通して、自分以外の誰かのことを想像するきっかけになればと考えてい
ます。文化芸術、福祉や教育の枠組みを超えて、子供たちが人と出会うことで新たな世界を知り、
共につながり生きるあたたかい未来を描くための対話の時間です。

企画全体について

当ユニバーサル公演事業を実施されるにあたり重点を置くポイントや工夫、対応について御入力ください。

企画のねらい

「すべての子供たちは芸術の発信者であり、社会に文化の風を吹かせる存在である。」
これまで子供たちを前に行った多くの公演を通じて、劇団員一同、そう肌身に感じてきました。

しかし、実際には「周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」「劇場が近くになく、機会がない」「障がいを理由に、寂しい思いをさせたくない」「盲学校とろう学校の子供たちが一緒に楽しめる舞台がない」などの理由から、演劇等の芸術鑑賞を諦めてきたと多くの先生方から伺ってきたことも事実です。

そのような先生たちの声に応え、一人でも多くの子供たちに「本物の劇場体験」を届けたい。既存の舞台芸術が持っている「枠組み・壁」を取り払い、障がいのある子もない子も、一緒に演劇を楽しんでほしい。そして、違いを持った人同士が違いをそのままに、この社会で共に生きていくことの面白さと喜びを知ってほしい。そんな想いで、先生方のご意見を伺いながら、バリアフリーな劇場を創り出します。

好きな時に拍手をしたり、声をあげたり、舞台に駆け上がったたりも自由です。そのひとつひとつが、その子なりの表現であり、芸術や文化を愛する心を育てている証だと考えています。知的好奇心が引き出され、ひとりひとりの表現が重なり合う場は、自身や友だち、先生や家族と新たに出会い直す場にもなるはずです。

それぞれが多様な色で作り出す演劇空間に生まれる「小さな共生社会」が、子供たちが担うであろう未来の社会の種になること、それが「バリアフリー演劇」を通じて私たちの目指すものです。



先生方との綿密なやり取りを大切に本番へ

学校での日常の様子、活動、それぞれの障がい特性、個別に必要な配慮、その子の好きなことや得意なことを伺いながら、事前の打合せを行います。

子供たちひとりひとりが輝き、持ち味を存分に発揮して参加できるプログラムを先生方と一緒に作成します。

舞台や人ともっと仲良くなるために

子供たちが「ここは自分たちの劇場だ!」と感じられるように、舞台をまるごと体感できるバックステージツアーを実施します。刻々と変化していく体育館の様子を一日中眺めたり、音や明かりを自分で操作してオペレーターになってみたり、俳優たちとたっぷり触れ合ったり。ひとりひとりがリラックスして会場に入れるよう工夫します。

視覚障がいの子供たちも衣裳や道具の形にさわって、舞台や登場人物に親しめる時間を設けています。

演劇の世界に飛び込もう! バリアフリーの工夫

バリアフリー演劇には視覚・聴覚の情報を伝える、舞台手話や字幕、音声ガイドが入ります。さらに舞台の広さや構造、出演者やサインネーム(役名を表す手話)を紹介する舞台説明もあります。車いすやストレッチャーの子もいつでも舞台上に登れるように、舞台美術と融合したスロープを設置。

舞台と客席の垣根を取り払って、誰もが共にいられる空間づくりに取り組んでいます。

体調や安全に配慮した会場内の環境づくり

- 子供たちの体験をサポートするスタッフを要所に配置
- 冷暖房器具を持ち込み、会場の適切な温度管理を徹底
- 体育館の出入り口や入場導線の確保(ケーブルの配線の工夫、足元灯の設置など)
- 医療的ケアが必要な子供たちに向けたオンラインプログラムの実施
- 公演中の客席の明るさ、音の大きさなどの調整
- 身体に障がいのある子供たちも楽な姿勢で鑑賞できる、客席スペースの確保
- 生活リズムを考慮した公演時間の短縮、演出内容の変更 など



照明のオペレート体験



舞台の道具にさわってみる



登場人物を紹介する舞台説明



スロープを使って舞台を堪能!

■ 先生方からご提案頂き、これまでに実施した個別のプログラムの例

- 好きな楽器やVOCA（会話補助装置）を用いた参加・共演場面
- 子供たちが主体的に企画・進行するオープニングセレモニーの開催
- 学校で取り組んでいる音楽活動やダンス、朗読などの発表を舞台上で披露するカーテンコール
- 子供たちの美術作品を組み込んだ特別セットの設置、美術展の同時開催
- 公演のオリジナルポスター作り、地域や保護者に向けた招待状づくりなど公演前の活動
- 障がいの特性や、子供たちの学習に応じたスペシャル教材の作成
[墨字・点字による上演台本やパンフレットの作成／俳優の声で届けるメッセージ
／手話歌や俳優紹介を収録した映像配信／サインネーム紹介プリント]
- 近隣の社会福祉法人や作業所、障がいのある方たちを招いての地域に開いた演劇祭

取り組み②で応募する場合、特に重点的に取り組んできた課題（障がいの種類等）

青少年を対象とした演劇公演を重ね、あらゆる子供たちに向けた上演に取り組んできました

創立以来、全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の子供たちとの対話を繰り返してきました。現在も大規模校・小規模校問わず、離島、へき地や山間部などを含めて、年間約200校をめぐる公演しています。

なかには、人との関わりが苦手な子や不登校など、生きづらさを抱える子たちとの出会いもありました。公演ごとの彼らの反応や感性に学びながら、作品の厳選、演出の細やかな見直し、本格的な舞台空間を作り出すための設備を整えています。また、一回一回の観客と真摯に向き合う、専門性の高い俳優・スタッフの育成にも力を注いでいます。

障がい当事者や福祉の専門家と共にバリアフリー演劇を制作しました

すべての人が同じ時間、同じ空間を共にできるよう、研究会を発足。障がい当事者の方々（視覚・聴覚障がい、車椅子ユーザーなど）、障がいのある方の暮らしに寄り添う専門職の方々との意見交換をもとにバリアフリー演劇を制作しました。現在も勉強会やディスカッションを重ね、舞台芸術をプラットフォームとした共生社会の試みを共に模索し続けています。

協力・連携機関及び団体における専門員の配置等

巡回公演での実績のある俳優・スタッフによるプロジェクトチームを組織。下記のバリアフリー演劇監修者、協力団体と共に、子供たちが障がいへの理解を深めるためのワークショップや各地での広報を行います。

[バリアフリー演劇監修者]

大河内直之（音声ガイド監修・視覚障がい） 廣川麻子（字幕監修・聴覚障がい）

河合依子（手話監修・聴覚障がい） 小島祐美（舞台手話通訳・手話通訳士）

尾上浩二（バリアフリー演劇総合監修・肢体不自由）

[協力・連携団体]

DPI 日本会議（障がいの種別を超えて当事者が加盟する国際組織）

全国地域生活支援ネットワーク（障がいのある人たちの地域生活を支援）

全国地域で暮らそうネットワーク（障がいのある人たちの地域生活を支援）

全国手をつなぐ育成会連合会（知的障がいがある人とその家族が構成する団体）

インクルーシブ劇団夢屋（特定非営利法人自立生活夢宙センター）

バリアフリー戦隊ダンサナクセイバー（自立生活センター STEP えどがわ）

総合表現の新たな可能性 — 情報保障の取り組み

演出に組み込まれた、舞台手話・字幕・音声ガイド。

台詞や音楽を映し出す「字幕」は舞台装置の一部となり、「舞台手話役者」は俳優と共に演技しながら、手話で物語を伝えます。また、子どもたちと一緒に舞台を見ながら、舞台の動きをライブで語る「音声ガイド」が会場全体に流れます。

みんなで一緒に楽しむために — バリアフリーの新しい取り組み

「舞台手話役者」は

俳優と共に舞台を動きながら

台詞や音楽を手話で伝える



背景のスクリーンに
映し出される「字幕」



舞台の出来事を
ライブで語る「音声ガイド」



「舞台説明」では
舞台の広さや構造を伝え、出演者が
衣装の色や形を交えて役柄を紹介



さわる、感じる、対話する —— 舞台と客席のバリアをなくす

本番の前には、舞台説明、バックステージツアー、俳優紹介などを行い、すべての人が『星の王子さま』の舞台をイメージできる体験が組み込まれています。自分の手で俳優の衣装や道具にさわる、目で見て、肌で感じて道具の仕組みにふれる、出演者と関わり合う体験を大切にしています。



共演者が子どもたちと対話しながら、舞台を説明



大道具や小道具も裏側も見て、聞いて、ふれて、感じる
「バックステージツアー」



公演前や公演後には俳優たちと仲良くなる



俳優の衣装を着てみる、さわってみる

表現する喜びと楽しさを——
手話や身振り、身体を使って

出演者と対面し、物語を通して自分が感じたことを思い思いに表現できることを大切にしています。自分の想いを「手話」や「歌」「身振り」を使って、俳優たちと共にひとつの場面をつくりだす子どもたち。彼らの想いが表現となり、かけがえのない思い出、明日への一歩へとつながっています。



劇中の歌を
「手話」を使って表現



先生との事前打合せを十分に行ったうえで、ワークショップ・本公演を行います。普段の様子や取組みを伺いながら、各校のプログラムを話し合います。児童生徒の興味関心が高まるよう、墨字・点字の『星の王子さま』の上演台本や、出演者の自己紹介と「手話歌」を紹介する映像なども準備しています。

【令和6年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書（No.1）】

ID*	UNI6_10	企画名	みんなで楽しむ バリアフリー演劇		
制作団体名	株式会社 東京演劇集団 風		公演団体名	東京演劇集団 風	

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等						応相談	
控室について	必要数*	1室	条件			特にありません。お部屋がない場合は体育館ステージでも実施可能です	可	
前日仕込みについて*		あり	補足			前日夕方から2時間程度、体育館への荷物の運び込み等をさせていただきます	可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数*		10t	1台	中型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細						周辺の道路状況により大型車両進入ができない場合は、小型トラック2～3台に変更可能	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		11tトラック（車幅2,5m/長さ12m/高さ3.7m）				可	
	搬入車両の横づけの要否*		要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離*		問わない				可	
	搬入経路の最低条件		事前に見下ろしをさせていただき、先生方と打合せながら、搬入経路・時間等を決定します				可	
	理由		大型車両が動くこととなりますので、スクールバス・給食車両等との時間調整や、周辺道路の状態によって、搬入・搬出経路や時間帯をご相談させていただきます。					
	設置階の制限*		問わない				可	
搬入間口について 単位：メートル	幅	1.5m	高さ	1.8m		可		
会場設営について	舞台設置場所*		フロア				不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	12m	奥行	9m	高さ	問わない	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		不要				可
		舞台袖スペースの条件*						可
		緞帳*	不要	バトン*	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否*		不要	理由	劇団で暗幕を持ち込みます			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				可
		ピアノの事前調律*	不要				可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*	状況は問わない				可	
	公演に必要な電源容量		150A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項						応相談	
電源容量が満たない場合は、劇団で発電機を用意します。						可		

②会場図面(表記単位：メートル)

搬入間口について	幅	1.5	高さ	1.8
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

